

ロシア・プーチン大統領のウクライナ侵略戦争に反対する決議

2月24日、ロシア・プーチン大統領は、ウクライナへ侵略戦争を開始した。国家主権と領土を武力で侵すことは国連憲章や国際法に違反し、国際秩序を揺るがす蛮行であり断じて許されない。

約90年前、我が国においても、日本軍が中国に対し、侵略戦争を行った。私たち地方公務員の先輩も、第二次世界大戦が終わるまで政府、日本軍に加担せざるをえず、行政職員にあっては一家の大黒柱であった父兄に「赤紙（召集令状）」を交付し、教育職員にあっては未来ある「教え子たちを戦場」に送り出した。加害者としての苦渋に満ちた歴史を忘れることなく、さらに戦後、戦争の悲惨さを元に、先輩たちが進めてきた反戦平和の取組みを後世に引き継ぎ、世界平和な社会の大切さを訴えていくことが一層重要である。

世界の平和を愛する仲間が一致団結し、ロシア・プーチン大統領は一刻も早く侵略戦争と無差別攻撃をやめるよう、強く要求する。

2022年3月18日

長野県地方公務員労働組合共闘会議

（長野県地公労共闘会議：長野県職員労働組合、長野県教職員組合、

長野県高等学校教職員組合、長野県企業局労働組合）